雑 報

変光星名が付けられた新星など

近着の IAU 変光星委員会から出版されている Information Bulletin on Variable Stars (IBVS) No. 1921 によると 1980 年までに命名・登録された変光星の総数は 28254 星で，本誌 1979 年 11 月号に紹介して以来 778 星が新たに加えられたことになる．それによると，赤外線カタログ (IRC) や，X線源カタログ (3U, 4U) などに含まれる星で，変光が認められるものについても変光星名がつけられていて，その数も増加していることがわかる．下記は 1979 年 11 月号で紹介以後に新たに命名・登録された新星などである．* 印を付けた2星は新星ではないが，我が国で，古畑正秋氏によって観測され，新たに命名・登録された星である．

DV Cnc： 変光範囲（実視）10.0 等～11.0 等現
周期 約 110 日

BF CMi： 変光範囲（実視）10.3 等～11.1 等現
周期 約 1.18069 日

（香西洋樹）

	星	名	α (1950.0) δ	発見者	発見日
1.	SS 433	=V 1343 Aql	$19^h\ 09^m.4$ +04° 54′		
2.	IRC+10200	=DV Cnc	9 0.6 +08 24	Huruhata	
3.		=BF CMi	7 27.7 +04 38	Huruhata	
4.	Cen X-4	=V 822 Cen	14 55.3 −31 28		
5.	Cir X-1=3 U 1516-56	=BR Cir	15 16.8 −56 59		
6.	Nova Sgr 1978	=V 4049 Sgr	18 17.5 −27 58	B. Stenholm I. Lundström	1978 Mar. 8
7.	Ser X-1=4 U 1837+04	=MM Ser	18 37.5 +04 59		
8.	Nova TrA 1974=TrA X-1	=KY TrA	15 23.5 −61 49		
9.	Honda-Kuwano Object in Vul	=PU Vul	20 19.0 +21 25	M. Honda Y. Kuwano	1978 Aug. 21 1979 Apr. 5

書 評

COSMOS（上）（下）

カール・セーガン 著・木村 繁 訳

（朝日新聞社，1980年11月刊，上下各1,400円）

近年これほど話題になった天文書もなかろう．すでに書評も数多く書かれおおむね好評のようである．

カール・セーガン博士はコーネル大学惑星研究所の所長であり，アメリカの惑星探査計画に指導的役割をはたしてきた．特に火星探査船ヴァイキングで，火星における生命探査に情熱を傾けたことは本書にも詳しく述べられている．パイオニアの宇宙人への手紙やヴォイジャーのレコード盤も彼が首謀者である．木星大気と同じ組成の大気の中で放電実験を行ない，種々の有機物ができることを確かめもした．コーネル大学は，プエルトリコ島にあるアレシボ電波観測所の 300 m 巨大アンテナの運営を委託されているが，彼の主張によりここから球状星団 M 13 に向けて暗号電波が発射されたことがある．

こうしたセーガン流が本書のいたるところに吹き出しており，それが本書の魅力でもあり鼻につく点でもある．まず本書を天文学の入門書と考えるのは不適当であろう．むしろ天文学の科学（人文科学も含めて）上の位置づけ（特に科学史的な）について述べた本と理解した方がよい．科学史上のエピソードも多く語られており，ある場合は興味深く読まれるが，冗長に感ぜられるところもある．

本書の内容は昨年 11 月上旬，ヴォイジャー1号の土星接近に先だってテレビ放映もされているのでご存知の方も多かろう．ただし，本書は天文普及書としてはめずらしいほど図が少なく，テレビでは視覚にうったえるために異った構成にしたところも多い．想像の宇宙船（あまり感心しなかったが）は本書にはまったく登場しないし，宇宙カレンダーも簡単な表があるだけだ．テレビの視覚的な美しさに惹かれた方は旺文社からピクチャー・ブック版 COSMOS（全4巻）というのが刊行されているのでそちらを参照されるとよい．

上下巻あわせて 13 からなる章だては，題名も含めてテレビと同じである．1章（宇宙の浜辺で）は宇宙における地球の位置が語られ，エラトステネスが地球の大きさを測ったエピソードにもふれられている．2章（宇宙の音楽）は生命の誕生と進化について語られ，大気中の放電で有機物ができる実験も述べられている．ただし，人為淘汰の例としての平家ガニのエピソードはいわずもがなである．3章（宇宙の調和）は惑星の運動の話であるが，ケプラーに関するエピソードは大変おもしろく読めた．4章（天国と地獄）はツングース隕石が彗星であったという話から金星という地獄世界を紹介し，人類が